

ひまわり



平成30年6月7日(木)

学ぶ心



五月雨（さみだれ）が間断なく降り続き、農家が多忙を極める芒種（ぼうしゅ）を迎えました。芒種は芒（のぎ・イネ科の植物の花の外側にある針のような突起）のある植物を植え付ける季節を表しています。

さて、私の尊敬する経営者の一人に、パナソニック株式会社の創業者である松下幸之助氏がいます。これまで、日本企業は、何度も大きな経済危機を経験してきました。そして、時代の激流に淘汰（とうた）された企業も少なくありません。その中で、1918年に創業し、100年経った現在も成長を続けるパナソニックの経営を支える要素は何でしょう。

いくつかの要素があると思いますが、私は、松下氏の「学ぶ心」という話に注目したいと思います。氏は「学ぶ心」として、次のようなことを言っておられます。

- ・人は教わらずして、また学ばずして何一つとして考えられるものではない<中略>学んでのち、はじめて自分の考えが出るものである。
- ・学ぶという心がけさえあれば、宇宙の万物はみな先生となる。<中略>どんな人からも、謙虚、素直に学びたい。
- ・学ぶ心が旺盛な人ほど、新しい考えをつくり出し、創造性を発揮する人であると言っても過言ではない。

この「学ぶ心」は、同社の成長に大きく関わっていると思います。

学びには、これで終わりということはありません。中学生には中学生の学び、高校生には高校生の学び、それぞれの段階における学びがあるとともに、一生を通じて学び続けることが大切であると思います。

関西圏はまもなく梅雨入りを迎えます。ややもすれば、だらけてしまいそうな自分に発破を掛け、再度日々の学びを見つめ直してください。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>